

# 明新館通信

平成21年度

第1号

(通巻16号)

山形県立上山明新館高等学校

山形県上山市仙石 650 番地

☎023(672)1700

平成21年4月30日(木)発行

## 平成21年度がスタート

### ○平成21年度入学式を挙行 —314名が入学—

4月8日(水)午後2時から本校体育館にて平成21年度入学式を挙行し、平正明校長が314名の入学を許可しました。

平校長は式辞の中で、「日々新たに、また日に新たなれ」という本校の校訓について、「人間は、日々の反省をとおして、自分を常に新たにする姿勢が大事であり、そのことが自分を変えることになり、また人格を磨くことになる。そこで、この精神を絶えず持ち続け努力することが、人間としての成長をはかる上で重要なことである。」とその意味を述べました。そして、新入生に望むこととして「自ら学ぶ意欲を持ってほしい」ということと「出会いとかかわりを大事にしてほしい」ということのふたつをあげ、「夢の実現に向かって、本校での毎日を大切に送って下さい。」とこの学校で学ぶ意義について話しました。

そして最後に、「一生涯の友を得、3年後には自分の進路目標を達成し、充実した3年間だった、明新館に入ってよかったと思えるよう、皆さんの高校生活が楽しく充実したものになるよう心から祈念します。」と新入生にエールを贈りました。



式辞を述べる平正明校長



入学許可を受ける新入生一同



### 新入生代表宣誓のことは

校長式辞に続いて、新入生を代表して志田知美さんが、「本日ここに入学を許可されました私たち314名は、山形県立上山明新館高等学校の規則に従い、生徒の本文を守り、学業に精励することを誓います。」と力強く宣誓しました。

### 生活のリズムを作るために

毎日の生活時間帯がバラバラでは、体がついて行けません。夜更かしをされていては朝起きられないのは当たり前です。毎日同じリズムで生活すれば、それに合った体ができ、朝はぱちっと目が覚め、夜もきちんと眠くなります。そのために、1日の流れの中で、大きな部分を固定するように心掛けましょう。「起きる時間」「寝る時間」「ご飯を食べる時間」の固定は、健康な体作りに欠かせません。また、家庭での「学習時間帯」を毎日同じ時間帯に設定することも大切です。そうすれば、机に向かったとき、毎日同じように脳が活発に働くというものです。1週間続けたらあとは自然にできるようになるでしょう。さあ、今日から実行に移しましょう。

# 教育目標と目指す学校像・学校経営の基本方針

保護者の皆様にはご理解をいただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 教育目標

日本国憲法を尊重し、教育基本法の内容および高等学校教育目標に即して、つぎの目標の達成に努め、「知・徳・体」の調和がとれた人間を育成する。

- (1) 心身ともに健康で、豊かな情操を持つ人間を育成する。
- (2) 真理を求め、責任を重んじ、社会の変化に対応してたくましく行動できる人間を育成する。
- (3) 創造力に富み、自ら考え、主体的に学ぶ意欲と豊かな知性を持つ人間を育成する。
- (4) 国際的な視野を持ち、郷土を愛し、社会に奉仕し貢献できる人間を育成する。

## 目指す学校像

- 学校生活が楽しく有意義であること。
- 自分の進路目標達成が可能であること。
- 学習、部活動、生徒会活動、ボランティア活動等を通してお互いに学び合えること。
- 生徒、教師、保護者がともに夢と希望を持ち、目標に向かって挑戦し続けること。
- 「いのち」の大切さを学ぶこと。

## 平成21年度学校経営の基本方針

- (1) 生徒が目標を持って、充実した学校生活を送ることができること。
- (2) 職員がやりがいを持って日々の教育活動を実践できること。
- (3) 生徒・職員ともに健康で元気に学校生活を送ることができること。



## 観光プランを提案

本校生がガイド役も

本校、情報経営科の生徒が観光プランを提案し、JR東日本が企画した「かみのやまツアー」が、四月二十六日(日)に開催されました。

「桜の銘木めぐりとかみのやま古屋敷村の古民家探訪」と名付けられたツアーには、県内外から約三十人の観光客が参加。コースはみゆき公園や権現堂のしだれ桜といった銘木を鑑賞した後、映画「ニッポン国古屋敷村(小川紳介監督)で一躍有名になった古屋敷の古民家集落を訪れました。

ツアーでは生徒がガイド役も務め、訪れた観光客に上山の魅力を紹介。参加した観光客は上山の魅力が堪能しました。

